

栃木県重点戦略

とちぎ
未来
創造
プラン

2021-2025

人が育ち、地域が活きる 未来に誇れる元気な“とちぎ”

栃木県

はじめに

プランの役割

「とちぎ未来創造プラン」は、中長期的な展望のもと、めざすとちぎの将来像を描き、その実現に向け、県民の皆様と共有すべき基本的な考え方や目標を明らかにするとともに、今後5年間に県が取り組む施策の進め方等をお示しする県政の基本指針です。

プランの計画期間

このプランは、令和3(2021)年度を初年度とする令和7(2025)年度までの5年間の計画期間とします。

1 人口減少、少子高齢化の進行

人口減少・少子高齢化の進行がもたらす人口構造の変化、東京圏への転出拡大、外国人の受入拡大 など

2 経済環境の変化

「Society5.0」の実現に向けた技術革新の進展、諸外国との経済連携の進展、労働力人口の減少 など

3 生活環境の変化

教育・子育て支援におけるニーズの多様化、社会保障給付費の増大、自然災害のリスクの高まり、地域の活力低下 など

4 地域の魅力、いちご一会とちぎ
国体・とちぎ大会の開催

本県の地理的優位性、魅力ある地域資源、スポーツを通じた健康づくりや交流の拡大 など

5 自治体経営

財政構造の硬直化、行政コストの増大、行政の効率的な運営 など

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響

6 新しい時代の流れ

(1) Society5.0の実現に向けたデジタル化の推進

子どもから高齢者まですべての人が県内どの地域に住んでいても安心して暮らし続けることができるよう、経済発展と地域課題の解決を両立することができる社会(Society5.0)の実現に向け、デジタル化を推進することが重要となっています。

(2) 「新たな日常」の実現

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と社会経済活動を両立していくためには、一人ひとりが「新しい生活様式」を実践し、これまでとは異なる常識や価値観を受け入れ、「新たな日常」を実現することが重要となっています。

(3) SDGsの達成

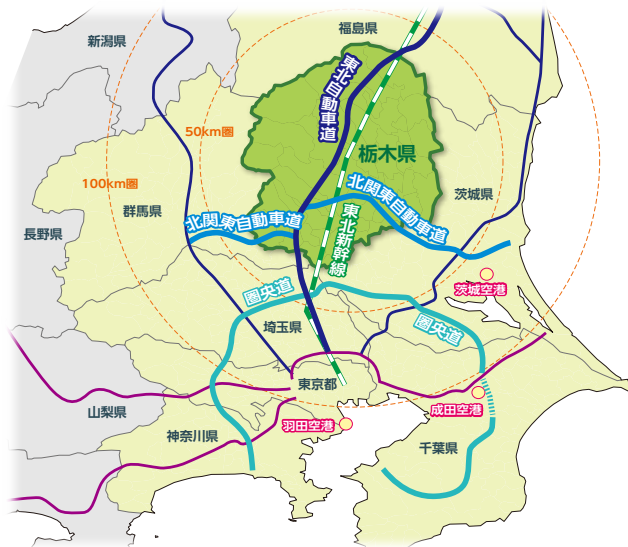
SDGsは世界が直面する経済、社会、環境の広範な課題を統合的に解決することを目指す世界共通の目標であることから、栃木県においても、行政をはじめ、県民、企業、NPO等、あらゆる主体がSDGsに対する理解を深め、SDGsの理念を踏まえて行動していくことが重要となっています。

〈第1部〉

Ⅱ とちぎの強み

① 恵まれた立地環境

- 東京と近接し利便性が高く優位な立地環境
- 豊富な水資源を有し大規模な地震が少ないなど、暮らしや産業の基盤となる安全で広大な県土を形成



② 雄大な自然と地域に根ざした歴史・文化



茶臼岳の紅葉



史跡足利学校

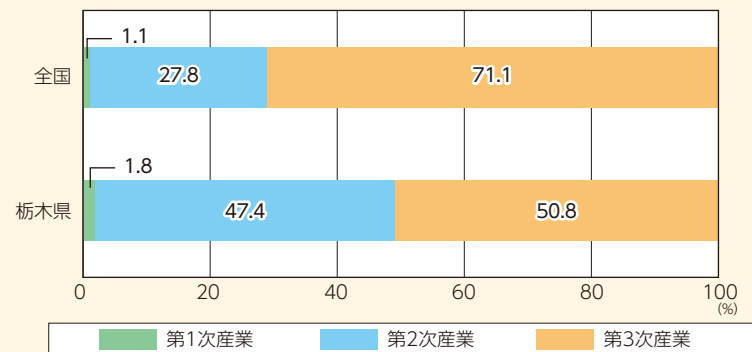


益子焼

③ 活力ある産業

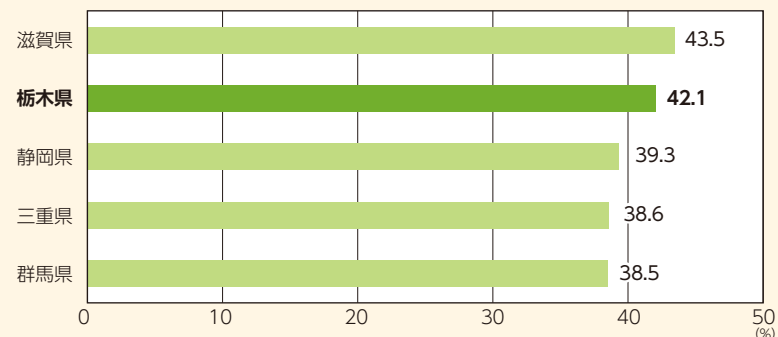
- 自動車、航空宇宙、医療機器などを中心とした全国有数の「ものづくり県」
- 一人当たりの県民所得が全国上位(2017年度第3位)

県内総生産(名目)に占める第1次・第2次・第3次産業の構成割合(2017年度)



資料:内閣府「県民経済計算」(2020年10月時点)を加工して作成

県内総生産(名目)に占める製造業の構成割合が全国上位の5県(2017年度)

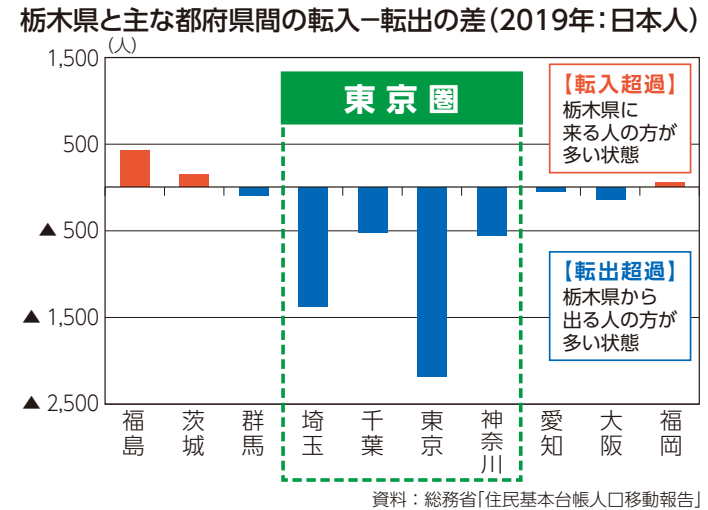
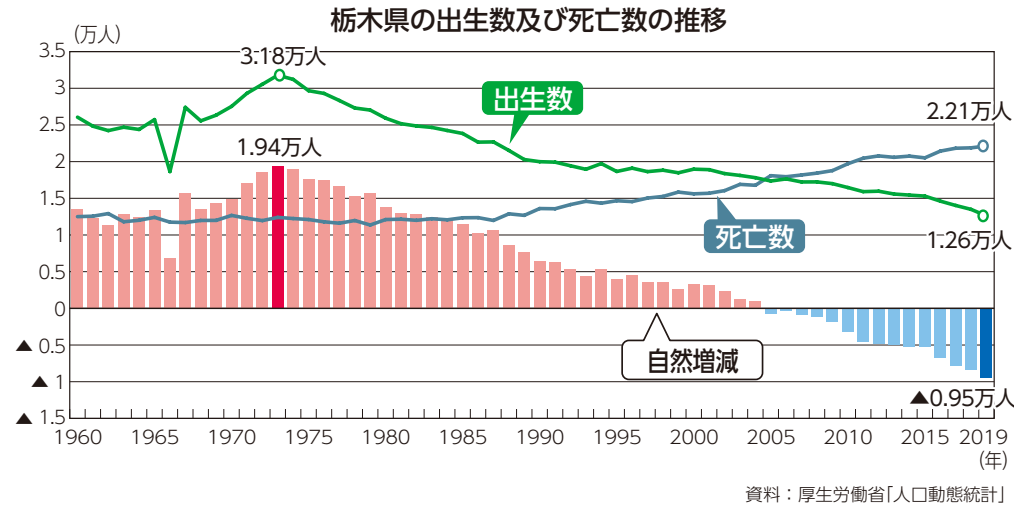


資料:内閣府「県民経済計算」(2020年10月時点)を加工して作成

〈第1部〉

Ⅲ 人口の将来展望

栃木県の総人口は、今後も少子化や県外への転出超過の傾向が継続すると、令和42(2060)年には約130万人にまで大きく減少すると予測されます。



合計特殊出生率の向上

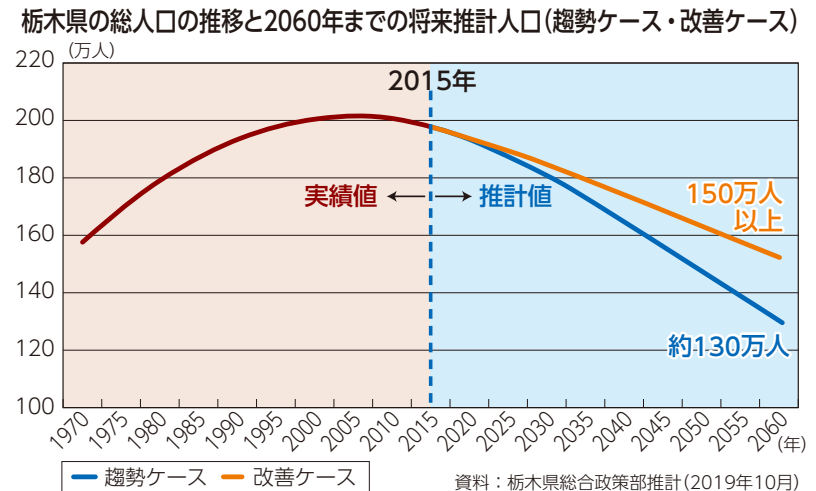
基準値(2018年) 1.44	➡	2045年 2.07*
--------------------	---	----------------

※人口規模が長期的に維持される出生率

転出超過の解消

基準値(2019年) ▲3,518人	➡	2030年 ±0人
-----------------------	---	--------------

若い世代の結婚、妊娠・出産、子育て、移住等の希望を実現することなどにより、令和42(2060)年に150万人以上の総人口を確保することができると見込まれます。



このプランでは、めざすとちぎの将来像を

人が育ち、地域が生きる 未来に誇れる元気な“とちぎ”

と掲げ、各分野の具体的な将来像を

- ◆ 次代を担う人がたくましく育ち、あらゆる場で活躍する「とちぎ」
- ◆ 魅力ある多彩な産業が活力にあふれ、豊かさに満ちる「とちぎ」
- ◆ いつまでも健康で、誰もがいきいきと暮らせる「とちぎ」
- ◆ 強くしなやかで、安全・安心を実感できる「とちぎ」
- ◆ 誇れる地域・豊かな自然を未来につなぐ「とちぎ」

として、県民の皆様とともに、その実現に向け全力で取り組んでいきます。

とちぎの将来像の実現に向けた基本姿勢

夢と希望に満ちた新しい時代を切り拓いていくためには、年齢・性別・障害の有無などに関わりなく、県民、行政、NPO、団体、企業などの多様な主体が、それぞれの役割を果たしながらより一層連携・協力していくことが必要です。

このため、本プランにおいては、幅広い県民の皆様と共にとちぎの将来像を実現するため、次の3つの基本姿勢を掲げ、とちぎづくりを進めていきます。

(1) すべての県民が担い手として協働し活躍する

(2) すべての地域が連携・協力する

(3) すべての分野でとちぎの魅力を発信し確実に届ける

人口減少・少子高齢化の進行、頻発・激甚化する豪雨災害、新型コロナウイルス感染症の感染拡大など、栃木県が直面する諸課題を乗り越え、新しいとちぎづくりの推進に向け、とちぎの強みを最大限生かしながら、めざすとちぎの将来像を実現するため、今後5年間で重点的に取り組むべき戦略として設定するものです。
「めざすとちぎの将来像」をもとに5つの戦略で構成されています。

人が育ち、地域が活きる 未来に誇れる元気な“とちぎ”



重点戦略の構成

人が育ち、地域が活きる
未来に誇れる元気な
“まち”

とちぎの将来像

次代を担う人が
たくましく育ち、
あらゆる場で活躍する
「とちぎ」

魅力ある多彩な
産業が活力にあふれ、
豊かさに満ちる
「とちぎ」

いつまでも
健康で、誰もが
いきいきと暮らせる
「とちぎ」

強くしなやかで、
安全・安心を実感できる
「とちぎ」

誇れる地域・
豊かな自然を
未来につなぐ
「とちぎ」

重点戦略

重点戦略
1
人材育成
戦略

重点戦略
2
産業成長
戦略

重点戦略
3
健康長寿・
共生戦略

重点戦略
4
安全・安心
戦略

重点戦略
5
地域・環境
戦略

プロジェクト

- 1 とちぎの未来を担う人材育成プロジェクト
- 2 笑顔輝く子ども・子育て支援プロジェクト
- 3 スポーツ推進、歴史・文化芸術振興プロジェクト

- 1 とちぎの明日を創る産業成長プロジェクト
- 2 活力ある農林業実現プロジェクト
- 3 観光立県躍進プロジェクト
- 4 国際戦略推進プロジェクト

- 1 人生100年健康いきいきプロジェクト
- 2 生涯安心医療・介護プロジェクト
- 3 多様な人材活躍推進プロジェクト
- 4 誰一人取り残さない地域共生社会づくりプロジェクト

- 1 危機対応力強化プロジェクト
- 2 県土強靱化プロジェクト
- 3 暮らしの安全・安心向上プロジェクト

- 1 ふるさとの魅力向上プロジェクト
- 2 暮らしやすい「まち」づくりプロジェクト
- 3 環境にやさしい持続可能な地域づくりプロジェクト
- 4 未来技術を活用した新しいとちぎづくりプロジェクト



とちぎの未来を担う子どもたち



AI・IoT、ロボットなどの技術駆使した工場



健康づくりのための運動



関係機関が連携した救助訓練



サイクルイベントによる地域活性化



人材育成戦略



授業でのICTの活用

1 とちぎの未来を担う人材育成プロジェクト

プロジェクトの目標

子どもたち一人ひとりの夢や希望の実現に向け、「確かな学力」、「豊かな人間性」、「ふるさとを愛する心」を育み、地域等と連携しながら、とちぎの未来を担う人材を育成します。

重点的取組

- ◆ 確かな学力と豊かな人間性、ふるさとを愛する心の育成
- ◆ 一人ひとりの可能性を伸ばす教育の推進
- ◆ 地域等との連携・協働などによる特色ある学校教育の推進
- ◆ 新たな時代に対応した学びの推進と学校指導体制の整備
- ◆ デジタル化に対応した資質・能力の育成



成果指標

① 全国学力・学習状況調査の各教科の標準化得点の平均値

現状値

2019年
小6(国語、算数) 99.5
中3(国語、数学、英語) 99.7

目標値

2025年
小・中学校で全国平均
(100.0)を上回る

出典：①文部科学省「全国学力・学習状況調査」



1 人材育成戦略

2 笑顔輝く子ども・子育て支援プロジェクト



子どもの健やかな成長

プロジェクトの目標

結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえるため、家庭や保育所、学校等に加え、社会全体で子どもたちを育てる環境づくりを推進します。

重点的取組

- ◆ 結婚支援の充実
- ◆ 妊娠・出産、子育て支援の充実
- ◆ 貧困や虐待などの問題からすべての子どもを守り、支援する環境づくり



成果指標	① 婚姻率 (人口千人対)	現 状 値	2019年 4.5 (全国15位)	目 標 値	2025年 上昇を目指す
	② 保育所待機児童数 (10月1日時点)	現 状 値	2020年 74人	目 標 値	2025年 0人

出典：①厚生労働省「人口動態統計」 ②厚生労働省「保育所等利用待機児童数調査」



1 人材育成戦略

3 スポーツ推進、歴史・文化芸術振興プロジェクト



スポーツを通じた子どもの体力向上

プロジェクトの目標

子どもの体力向上を図るとともに、いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の開催を契機として、すべての県民が生涯を通してスポーツを「する」、「みる」、「支える」ことができる環境づくりや、スポーツを支える人材の育成を推進します。

また、県民の歴史・文化への理解を促進し、誰もが文化芸術に親しみ、主体的に取り組むことができる環境づくりを推進します。

重点的取組

- ◆ 子どもの体力向上やスポーツによる健やかな体づくり
- ◆ いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会を通じた人づくり
- ◆ とちぎの歴史や文化芸術を通じて地域を支える人づくり



成果指標	① 新体力テスト体力合計点の全国平均値との差	現状値	2019年 小5 男子 ▲1.17点 女子 ▲0.10点 中2 男子 ▲0.37点 女子 0.35点	目標値	2025年 小・中学校で男女とも全国平均値を上回る
	② 県内公立文化施設入館者数	現状値	2019年 67.0万人	目標値	2025年 70.0万人

出典：①スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」 ②栃木県県民生活部集計



産業成長戦略



自動車組立工場の生産ライン

1 とちぎの明日を創る産業成長プロジェクト

プロジェクトの目標

本県産業の持続的な発展に向けて、次の時代の成長を担う次世代産業の創出、サービス産業やものづくり産業の更なる振興、戦略的な企業誘致及び産業人材の育成等により、本県経済の活性化を図ります。

重点的取組

- ◆ 次世代産業の創出・育成
- ◆ サービス産業等中小企業・小規模事業者の発展支援
- ◆ ものづくり産業の戦略的な振興
- ◆ 企業立地・定着の促進
- ◆ 産業人材の確保・育成



成果指標	① 製造品出荷額等	2018年 9兆2,111億円 (全国12位)	2024年 現状値を上回る*
	② サービス産業の売上高	2018年 9兆1,213億円 (全国18位)	2024年 現状値を上回る*

出典：①経済産業省「工業統計調査」 ②総務省・経済産業省「経済構造実態調査」

*新型コロナウイルス感染症の状況や影響を踏まえ目標値の見直しを行う。



産業成長戦略

2 活力ある農林業実現プロジェクト



無人運転によるスマート農業・林業の推進

プロジェクトの目標

未来技術の導入により生産性の向上を図り、若者や女性等が担い手として活躍できる環境づくりを推進するとともに、収益性の高い経営体の育成や安定的な供給体制の構築等により、農林業の成長産業化を図ります。

重点的取組

- ◆ 次代の農林業を拓く担い手の確保・育成
- ◆ 成長産業として持続的に発展する農業の確立
- ◆ 未来技術の活用等による林業・木材産業の進化・成長



成果指標	① 農業産出額	2018年 2,871億円(全国9位)	2024年 3,200億円
	② 林業産出額	2018年 107.1億円(全国12位)	2024年 135億円

出典：①農林水産省「生産農業所得統計」 ②農林水産省「農林水産統計」



産業成長戦略

3 観光立県躍進プロジェクト



奥日光の雄大な自然

プロジェクトの目標

優れた歴史遺産や豊かな自然等の観光資源、東京圏との近接性等の強みを生かした、魅力ある観光地づくりや観光誘客を推進します。

重点的取組

- ◆ 選ばれる観光地づくりの推進
- ◆ 観光客受入態勢の整備
- ◆ 国内観光客の誘客強化



成果指標	① 観光消費額	現状値	2019年 7,054億円	目標値	2025年 現状値を上回る*
------	---------	-----	---------------	-----	----------------

出典：①観光庁「共通基準による観光入込客統計」

*新型コロナウイルス感染症の状況や影響を踏まえ目標値の見直しを行う。



産業成長戦略

4 国際戦略推進プロジェクト

プロジェクトの目標

外国人観光客の誘客強化や県内企業の海外展開への支援、栃木県の強みである観光地や県産品・県産農産物等の魅力・実力を生かした海外市場への展開により、県内産業の発展や地域活性化を図ります。

重点的取組

- ◆ 外国人観光客の誘客強化
- ◆ 県内企業の海外展開支援
- ◆ 国際交流・協力の促進
- ◆ 県産品・県産農産物の輸出促進



海外展示商談会(THAIFEX)への出展



成果指標	① 外国人宿泊数	現状値	2019年 24.7万人	目標値	2025年 現状値を上回る*
	② 農産物輸出額	現状値	2019年 3.11億円	目標値	2025年 10億円

出典：①栃木県「栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査」 ②栃木県農政部集計

*新型コロナウイルス感染症の状況や影響を踏まえ目標値の見直しを行う。



健康長寿・共生戦略

1 人生100年健康いきいきプロジェクト



親子で取り組む健康づくり

プロジェクトの目標

すべての県民が若い頃から運動習慣を日常的に取り入れるなど、健康的な生活習慣を実践できる環境づくりや疾病の予防・早期発見等を推進します。

重点的取組

- ◆ いつまでも元気に暮らせるからだところの健康づくりの推進
- ◆ 疾病の予防・早期発見の推進



成果指標	① 健康長寿高齢者の割合	2018年 91.4% (全国6位)	2024年 91.4%
	② 三大死因(がん・心疾患・脳卒中)による死者数(人口10万人対)	2018年 208.1人 (全国45位)	2024年 186.5人

出典：①②栃木県保健福祉部集計



健康長寿・共生戦略

2 生涯安心医療・介護プロジェクト



高齢者の通いの場

プロジェクトの目標

感染症等の発生にも備えながら、住み慣れた地域に生涯にわたって安心して暮らすことができるよう、地域の実情に応じた医療提供体制等の充実を図ります。

重点的取組

- ◆ 感染症等の発生にも備えた地域医療提供体制の整備・充実
- ◆ がんや生活習慣病等の治療が必要な方に対するライフステージ等に応じたきめ細かな支援
- ◆ 地域包括ケアシステムの推進



成果指標	① 医療施設従事医師数(人口10万人対)	現状値 2018年 226.1人(全国34位)	目標値 2024年 全国31位以内
	② 介護職員数(要介護(要支援)認定者1万人対)	現状値 2018年 2,901人(全国35位)	目標値 2024年 3,201人

出典：①厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」 ②厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」



健康長寿・共生戦略

3 多様な人材活躍推進プロジェクト



誰もが働きやすい環境づくり

プロジェクトの目標

女性、若者、高齢者、障害者、外国人などすべての人が、それぞれの生活環境に合わせてながら、多様で柔軟な働き方などを選択し、あらゆる場で活躍できる社会環境づくりを推進します。

重点的取組

- ◆ あらゆる分野における女性の活躍推進
- ◆ 若者・高齢者・障害者・外国人の活躍に向けた環境づくりの推進
- ◆ 働きやすい環境づくりの推進



成果指標	① 女性就業率(15～64歳)[事業所規模30人以上]	現状値	2019年 33.7%	目標値	2025年 35.0%
	② 障害者の雇用率	現状値	2019年 2.07% (全国43位)	目標値	2025年 2.45%

出典：①栃木県産業労働観光部集計 ②厚生労働省「障害者の雇用状況について」



健康長寿・共生戦略

4 誰一人取り残さない地域共生社会づくりプロジェクト

プロジェクトの目標

子どもや高齢者、障害者、外国人、性的マイノリティなど、すべての人が「地域」、「暮らし」、「生きがい」を共に創り、高め合い、誰もが社会で活躍し、快適に安心して生活できる地域社会の実現を推進します。

重点的取組

- ◆ 誰もが安心して暮らすことができる環境づくり
- ◆ 多文化共生の推進



外国人を対象にした防災教室



成果指標

① 困ったときに、家族・親族以外で相談できる場所(相手)がない県民の割合

現状値

2019年 10.6%

目標値

2025年 減少を目指す

出典：①栃木県「県政世論調査」



安全・安心戦略

1 危機対応力強化プロジェクト

プロジェクトの目標

大規模な自然災害の発生に備えるため、「自助・共助・公助」の連携によるソフト対策を充実・強化することにより、県民一人ひとりの防災意識を高めるとともに、災害等の危機事象に強い地域社会を構築します。

重点的取組

- ◆ 防災意識の高揚や適切な避難行動の促進
- ◆ 地域防災力の充実・強化
- ◆ 災害から県民や地域を守る体制の充実・強化



地区防災計画の策定作業



成果指標

① 避難情報(5段階の警戒レベル)を理解している県民の割合

現状値

2020年 30.5%

目標値

2025年 60.0%

出典：①栃木県「県政世論調査」



安全・安心戦略

2 県土強靱化プロジェクト



河川の整備による治水機能の向上

プロジェクトの目標

豪雨災害や大規模地震等から県民の「命」や「財産」はもとより、日々の「暮らし」や「生業」を守るため、社会資本の整備・保全などのハード対策を計画的に推進し、ソフト対策との両面から、災害に強い県土を構築します。

重点的取組

- ◆ 災害に強く県民の命と暮らしを守る社会資本の整備推進
- ◆ 社会資本の老朽化対策の推進



成果指標	① 令和元年東日本台風による河川の被災箇所の復旧率	現況値	2019年 0%	目標値	2025年 100%
	出典：①栃木県県土整備部集計				



4 安全・安心戦略

3 暮らしの安全・安心向上プロジェクト

プロジェクトの目標

交通事故や犯罪などの危険から県民が自ら身を守るとともに、地域が一体となって県民を守ることにより、誰もが安心して穏やかに暮らせる生活を確保します。

重点的取組

- ◆ 交通安全意識の高揚と交通事故抑止対策の強化
- ◆ 犯罪の未然防止・検挙による安全な地域づくり
- ◆ 安全・安心な消費生活の確保



高齢者への声掛け



成果指標	① 交通事故死者数	現状値	2019年 82人	目標値	2025年 75人
	② 刑法犯認知件数	現状値	2019年 11,155件	目標値	2025年 8,000件

出典：①②栃木県警察本部集計



地域・環境戦略

1 ふるさとの魅力向上プロジェクト



伝統文化を生かした地域振興(烏山の山あげ行事)

プロジェクトの目標

ふるさととちぎへの愛着や誇りを醸成するとともに、東京オリンピック・パラリンピックやいちご一会とちぎ国体・とちぎ大会などの機会をとらえ、とちぎの魅力を県内外に広く発信することにより、訪れたい、住みたい・住み続けたいとちぎづくりを推進します。

重点的取組

- ◆ とちぎへの愛着や誇りの醸成と「栃木ファン」の創出・拡大
- ◆ 新たな人の流れの創出や地域資源を生かした地域振興の促進
- ◆ 「分散型社会」の構築促進



成果指標

① 都道府県間人口移動数(日本人)

現状値

2019年 ▲3,518人

目標値

2025年 ▲1,759人

出典：①総務省「住民基本台帳人口移動報告」



地域・環境戦略

2 暮らしやすい「まち」づくりプロジェクト

プロジェクトの目標

地域の特性に応じた機能が集積したコンパクトな拠点の形成や公共交通サービスの確保・充実、地域間連携の促進により、持続可能でにぎわいのある誰もが暮らしやすい「まち」づくりを推進します。

重点的取組

- ◆ 地域の特性に応じたコンパクトな拠点の形成
- ◆ 公共交通サービスの確保・充実
- ◆ 地域間連携の促進



快適に暮らせる公共交通サービスの確保



成果指標	① 住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う県民の割合	現状値	2020年 70.9%	目標値	2025年 76.0%
	② 鉄道・バス等の利用者数	現状値	2018年 23.6万人/日	目標値	2024年 現状値を上回る*

出典：①栃木県「県政世論調査」 ②栃木県県土整備部集計

*新型コロナウイルス感染症の状況や影響を踏まえ目標値の見直しを行う。



地域・環境戦略

3 環境にやさしい持続可能な地域づくりプロジェクト

プロジェクトの目標

温室効果ガスの排出を実質ゼロにする脱炭素社会の構築や資源循環の推進などによる環境負荷の低減、豊かな自然環境の保全・活用など、環境にやさしい持続可能なとちぎづくりを推進します。

重点的取組

- ◆ 地域資源を生かした自立・分散型エネルギー社会の構築
- ◆ 気候変動による影響に対する適応策の推進
- ◆ 資源循環の推進
- ◆ 人と自然が共生する地域づくり



CO₂排出削減に配慮した高効率なエネルギー供給施設



成果指標

① 温室効果ガス排出削減率(2013年比)

現状値

2017年 4.8%

目標値

2023年 15.0%

出典：①栃木県環境森林部集計



5 地域・環境戦略

4 未来技術を活用した新しいとちぎづくりプロジェクト



観光地における自動運転技術の実証実験

プロジェクトの目標

Society5.0の実現に向け、未来技術を活用し、県内経済の発展と地域課題の解決を両立できるとちぎづくりを推進します。

重点的取組

- ◆ 未来技術の積極的な活用に向けた環境づくり
- ◆ 地域の課題解決に向けた未来技術の活用に対する支援
- ◆ デジタル人材の確保・育成
- ◆ デジタル・ガバメントの推進



成果指標

① 未来技術の活用による地域課題の解決・改善事例数

現状値

2020年 —

目標値

2021-2025年(累計) **10件**

出典：①栃木県総合政策部集計

1 協働による県政の推進

「地域をともに支え、次代を創る」という考え方に立って、多様な主体が積極的にとちぎづくりに参画し、活力ある社会を築いていくため、県民に開かれた県政とともに、地域における協働を推進していきます。

2 行財政基盤の確立

限られた行財政資源を有効に活用し、県民満足度の高い行政サービスを提供していくため、選択と集中を基本として、効果的・効率的な県政の推進、自律的な財政基盤や活力ある執行体制の確立に取り組んでいきます。

3 市町との連携・協働によるとちぎの自治の推進

地方分権時代にあって、本県が将来に向けて更なる発展を遂げるため、市町が地域における中心的役割を担い、住民のニーズを把握し主体的に施策を展開できるよう、市町村重視を基本としつつ、地域重視の視点も取り入れながら、市町との適切な役割分担のもと、連携・協働をより一層強化するとともに、地方分権改革に的確に対応していきます。

4 とちぎ創生^{いちご}15戦略(第2期)との連携

人口減少問題については、出生数の減少や東京圏を中心とした転出超過の拡大により、人口減少と少子高齢化が進行しており、オール栃木体制で取り組んでいかなければならない喫緊の課題となっています。

このため、人口減少問題の克服と将来にわたる地域の活力の維持を目指して、令和2(2020)年3月にとちぎ創生^{いちご}15戦略(第2期)を策定し、4つの基本目標と1つの横断的目標を定め、15の戦略に基づき各種施策を推進しています。

将来展望の実現に向けた施策の方向性



15の戦略で人口減少を緩やかに

将来のとちぎを支える若い世代の育成と定着促進

移住・定住の促進

結婚、妊娠・出産、子育ての希望の実現



編集発行／栃木県
〒320-8501 栃木県宇都宮市埴田1-1-20 総合政策部総合政策課
TEL 028-623-2206 FAX 028-623-2216 <https://www.pref.tochigi.lg.jp/>

令和3(2021)年2月